

論文審査の要旨

筆頭著者（学位申請者）氏名

大迫 希代美

主論文の題目
および
掲載・審査委員

題目 Effects of Age and Sex on the Relationship Between Body Fat Area and Kidney Events in Patients with Chronic Kidney Disease.
(慢性腎臓病患者における体脂肪面積と腎イベントとの関係に対する年齢と性別の影響)

掲載誌 Therapeutic Apheresis and Dialysis. 2020 Jul 18. (in press)

主査 曾根 正勝
副査 池森 敦子
副査 永井 義夫

[論文の要旨・価値]

近年、体脂肪と腎イベントとの関連についていくつかの報告がある。本研究は、保存期 CKD 患者において、CT による体脂肪面積と CKD 進行との関係を調べることを目的として行われた。当院で教育入院プログラムを受けた CKD ステージ G3a-5 の患者 367 人を対象として後ろ向きにデータ収集し、腹部 CT で測定した内臓脂肪面積 (VFA)・皮下脂肪面積 (SFA) と腎イベント (透析療法/腎臓移植の開始、またはベースラインからの eGFR の 50% の減少) に至るまでの時間との関係を解析した。観察期間の中央値は 1.7 年であった。すべての患者集団では、VFA と SFA は腎イベントのリスクの増加と関連していなかった。性別と年齢で階層化された多変量解析を行ったところ、75 歳未満の男性では、SFA は腎イベントと有意に関連していた (HR : 1.06、95%CI : 1.02-1.11、p = 0.01)。75 歳未満の女性では、VFA は腎イベントの減少と有意に関連していた (HR : 0.83、95%CI : 0.71-0.97、p = 0.02)。75 歳以上の男性と女性では、VFA と SFA は腎イベントと有意といえる関連は認めなかった。脂肪量と腎イベントとの関連は性別や年齢で異なることが示唆される結果で、臨床的価値のある研究と考えられた。

[審査概要]

審査は 2020 年 12 月 4 日に主査および副査 2 名と 1 名の陪席者の出席の下、行われた。約 20 分間の PC を用いた発表のあと、約 45 分間の質疑応答が行われた。質疑応答では、今回の解析で死亡者を含めなかった理由、用いた統計解析の手法、どこまでの解析を申請者が行ったか、欠測値の扱い方、説明変数の選択の妥当性、結果の解釈などについて質問がなされ、概ね適切に回答した。

最終試験結果の要旨

[研究能力・専門的学識・外国語（英語）試験等の評価]

プレゼンテーションは十分準備をされたものであり、審査の全体を通して丁寧かつ真摯な態度で臨まれており、医学博士にふさわしい人格を備えていることが伺われた。研究背景や既報に対する理解も十分で、専門的な知識も有していると考えられた。研究結果はなかなか解釈が難しい部分もあったが、それを踏まえたうえで質問に対しても真摯に答えようとする姿勢が感じられた。引用文献のアブストラクトの口頭での和訳も、概ね適切であり英語読解力も大きな問題は無いと考えられた。また、主論文と副論文で 3 編の英文論文を第一著者として報告していることも評価される。

以上より、申請者の大迫希代美氏は学位授与に値すると考えられた。